

住民と町をつなぐ議会であるため。あなたの声が町を動かす。

大月町 議会だより

第114号
9月定例会

令和5年11月1日発行
高知県大月町議会

スポーツの秋
みんなで体を動かそう!



4つのポイント

住民票などのコンビニ交付開始

- コンビニ設置の端末を利用して、住民票や印鑑証明が取得できる。
- 令和4年度中に条例改正等を行い、令和5年度から利用可能になった。

議会のひとこと

平日の日中に窓口へ来られない場合には大変便利。仕事帰りなどに立ち寄り、生活に必要なサービスが時間に縛られずに利用できるのは評価する。

新告知端末の運用開始

令和5年
113号
に掲載

- 従来の音声のみの告知端末ではなく、画面が付いたものに変更された。
- 放送内容を文字で確認できたり、町ホームページなども閲覧できる。
- 議会一般質問放送も、次回定例会までの好きな時に聞けるようになった。

議会のひとこと

告知端末・認知症予防アプリだけでなく、天気・防災情報・病院情報など、様々な情報を届けられることができる。

機能が増えた分、使い方が分からないとの意見もあるため、活用できるよう地区での説明会などの充実が望まれる。

9月定例会の概要

9月定例会は9月7日から14日まで開かれ、報告(専決)1件、報告2件、補正予算(専決)1件、条例1件、補正予算6件、決算認定9件、その他1件の合計21件が提出され、承認・可決した。

おおつき保育所の運動会。子どもたちの一生懸命な姿に元気を貰いました。久しぶりに開催された高齢者輪投げ大会では、地区で日々練習した成果を大いに発揮されていました。優勝は一切地区でした。



表紙写真によせて

機構改革

令和5年
111号
に掲載

- 業務の整理を行い、課の統廃合と配置換えによる利便性の向上を図る。
- 令和4年度中に庁舎改修や条例改正を行い、令和5年度から新しい体制での運用が始まった。

まちのご意見

玄関に入ってどこの課に行けばいいのかわからないので、改善してほしい。



議会のひとこと

今までは税金関係と保険証窓口が離れていたため、担当者や来庁者が行き来をしていて手間がかかっていたが、生活に関わる手続きが1階に集約され、分かりやすくなった。

更なる改善として、住民をスムーズに案内できる方法を検討する必要がある。

QRコードによる納税開始

- 令和4年度から納付書に「QRコード」が印字されている。
- スマートフォンアプリによる納付や、対応金融機関での納付など、時間や場所に縛られない納付が可能となった。



QRコード見本

議会のひとこと

自宅からでも日時に関係なく納付できるため、納付率の向上に役立つと思われる。積極的な活用を期待する。



特別会計決算額

特別会計名	歳入	歳出
特別養護老人ホーム	3億5109万円	3億5109万円
国民健康保険	8億1075万円	7億9494万円
水道	3億4104万円	3億4072万円
介護保険	8億4970万円	8億2392万円
漁業集落排水処理事業	3367万円	3339万円
給与等集中処理	8億6980万円	8億6980万円
後期高齢者医療	9905万円	9639万円

令和4年度

一般会計歳出決算額

52億682万円

総務費
15億2497万円
29%

民生費
11億4866万円
22%

969万円

庁舎改修工事

機構改革に対応するための改修。

5341万円

COSA環境整備工事

旧小才角小学校を新施設として利用するための改修。

おもな事業

- 出産・子育て支援事業
- ファミリーサポート事業
- 児童福祉事業
- 障害者支援事業
- 人権関連事業
- 医療費助成事業
- 特別給付金事業

など

一般会計決算額

歳入

56億4836万円

歳出

52億682万円

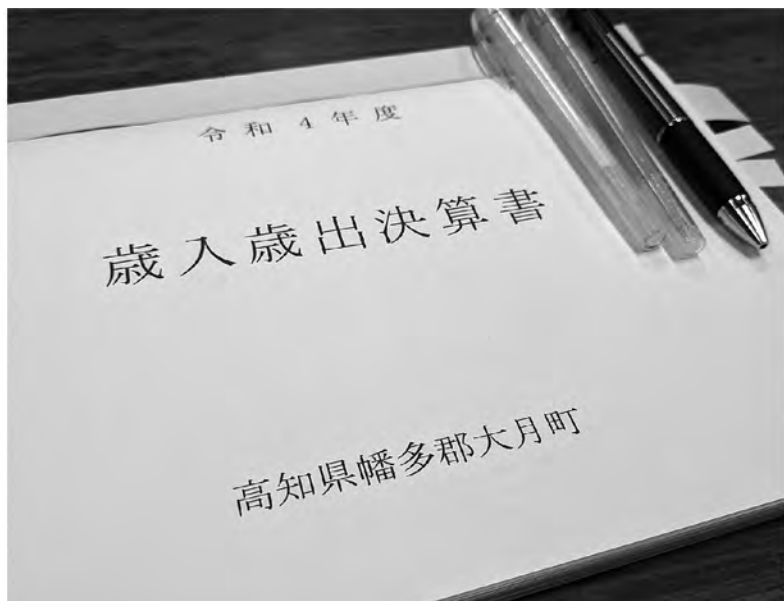
◆主な歳入

町税	地方交付税	ふるさと応援寄付金	基金繰入
4億6559万円	25億1533万円	2億1188万円	1億3798万円

決算審査

住みよい町に

9月12日、13日の2日間、全員協議会で決算を審査した後、14日の本会議において令和4年度決算を全会一致で承認した。



財政関係

財政調整基金

谷 財政調整基金の現状は。

答 令和4年度末の現在高は約10億円となっており。本町の財政規模では14億円程度が目価値となります。

不用額

谷 決算上、多額の不用額がある。それらを精査し財政の安定を図るべきではないか。

答 事業の繰り越しや流動的経費等でどうしても不用額として計上せざるを得ない項目もありますが、精査し財政の安定化に努めます。

固定資産税

中田 固定資産税が昨年度より1800万円ほど増えた要因は。

答 新築家屋の増と、太陽光パネルの設置等による償却資産の増によります。

特老の借金返済

浦木 特老の借金返済の見通しは。

答 借金9億8000万円は、令和4年度には3億9800万円になっています。令和23年度にすべて返すことができます。

施設改修負担金

安原 幡多クリーンセンター施設の長寿命化を図る5157万9千円の町負担金、各市町村の負担割合の算出と総額は。

答 総額28億円です。内訳は均等割10%、人口割90%です。

不納欠損等

安岡 介護保険料の不納欠損と未納者の数、滞納によるペナルティは。

答 不納欠損は24名。未納は46名。ペナルティーは、未納がある場合や、10年さかのぼり不納欠損がある場合は、3割負担となります。

農業関係



グリーンパイア

農業支援

浦木 有望品目産地化推進事業74万円、地域営農支援事業567万円、担い手支援事業120万円の補助金についての説明を。

答 有望品目は2件でグリーンパイアと芋です。3戸以上の方が協力すれば上限50万円の補助対象となります。地域営農支援事業は春遠の集落営農組織の機械導入に対する補助金です。担い手支援事業は新規就農者1人分の補助金です。

福祉関係

ヘルパー養成

中田 ホームヘルパーの養成委託料170万円の内容と成果は。

答 年に1回、4ヶ月間かけて資格を取得するものです。令和4年度は13名の方が受講しています。

介護人員

中田 令和4年度の介護人員の内訳と、十分なサービスを行っていくための将来的な人員確保は。

答 職員24名、フルタイム会計年度職員18名、パートタイム会計年度職員3名で運営しています。今は十分なサービスが行き届いていますが、将来的な人員確保はこれからの課題です。

障害者サービス費

野村 障害者福祉サービス費は、職員のスキルアップにも使われているのか。

答 利用者の利用料のみです。



河川水道関係

河川予算の使い方

野村 河川の氾濫による被害で毎年同じ箇所予算を投じている。下流域の状況にもよるが、嵩上げなど被害の軽減につながる予算の使い方をしては。

答 過疎債や国土強靱化の予算で使える箇所を修復しています。河川工事は下流域の事があり難しいですが、現場を見て検討します。



才角川の氾濫

水道滞納件数

安岡 水道料金の滞納繰越金が多額である。滞納件数と今後の徴収は。

答 滞納件数は206件となっています。令和5年度からは3か月滞納があれば給水停止としています。

生活全般

サポート事業

安岡 ファミリーサポート事業の成果は。

答 児童の預かり援助を受けた人(依頼者)は30人、援助を行いたい人(提供者)は14人、両方の人は1人となっています。依頼者と提供者のマッチングは15組です。

シェアオフィス

浦木 空き家活用シェアオフィス1880万円についての説明を。

答 ふれあいパークのアトリエ棟2階3階にトイレや水回りをつけ電気配線を行い、独立した建物にしたものです。テレワークの拠点として検討しています。



条例改正

◆廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

改正内容：消費税額の適正な反映のための改正及び、資源ごみ袋の料金を約25%減額し、極小サイズを追加するもの。

施行日：令和5年10月1日(消費税関係)
令和6年4月1日(極小袋の追加・減額)



資源ごみ袋の比較イメージ

補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後予算額
一般会計	3億8848万円	56億9841万円
国民健康保険特別会計	1580万円	8億0662万円
水道特別会計	756万円	2億7882万円
介護保険特別会計	2884万円	8億5226万円
漁業集落排水処理事業特別会計	25万円	9557万円
後期高齢者医療特別会計	268万円	1億0210万円

議案の議決内容

専決予算	一般会計補正予算第2号	全員承認
補正予算	一般・国保・水道・介護・漁集・後期	全員賛成
条 例	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	全員賛成
決算認定	一般会計・特別会計・病院事業会計	全員承認
その他	辺地に係る総合整備計画	全員賛成

産業建設常任委員会

ゼロカーボンシティを目指して

木質バイオマスについて調査を開始

大月町も「ゼロカーボンシティ」を宣言し、二酸化炭素排出量を少なくすると同時に二酸化炭素を吸収する森林を育てることに努めるとしている。大月町の大きなテーマである「人口減少問題」について、産業建設常任委員会から「働き場の創出」を図るため、「林業従事者の育成に努めるべき」と、様々な支援策を提言したが、これらを実現するためには、町内に核となる材の受入れ先(取引先)が必要であると考える。

産業建設常任委員会では、町が宣言した「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、調査を開始した。

【島根県津和野町】



発電装置

【大分県臼杵市】



木質チップ

—なぜ木質バイオマスガス化発電を提案したいのか？—

- ①健全な里山づくりをすることにより山、川、海を守る。
- ②未利用な地域資源の活用によって林業従事者を育成し、生業を創出する。
- ③災害時にも利用できるエネルギー源を確保する。
- ④大月で暮らす人が将来にわたって自然の恵みを受け続けることのできる社会を作る。

これらのビジョン実現の手段のひとつとして木質バイオマス資源利活用(熱電併給)の可能性を調査する。

公共施設等リニューアル

利便性の高い総合施設を 優先順位をつけて検討／町長



中田 巖 議員



老朽化が深刻な公共施設

問 老朽化が深刻な公民館や改善センター等のリニューアルについて、検討会議の進捗状況を聞く。

岡田町長 若者定住を目指す宅地造成の必要性と方向性を検討するとともに、まちづくりの基盤となるゾーニング案と既存の公共施設との在り方について、令和6年2月末を目途に報告書の作成を目指しているところです。

問 みんなが安心して暮らせる持続可能な町づくりのために、図書館やほっとセンター機能、農協や銀行、子どもからお年寄りまで集える利便性の高い総合施設の計画を大月町の将来を見据えて論議すべきであると考えてるが、町長の考えを聞く。

岡田町長 ご指摘の施設等において早急に対応しなければならぬ施設も存在します。検討会議において協議された内容を踏まえ、優先順位の高い施設から担当課を中心とするチームを立ち上げ、整備計画を検討していきます。

その際には財政上の問題をクリアし、民間の意見を取り入れるための手順を組み込んでいくこととします。

ゼロカーボンシティ宣言

森林を育てる人の育成は 支援制度を活用／町長

問 町長は令和5年3月定例会の『ゼロカーボンシティ宣言』により、公共施設における再生可能エネルギーを用いることでCO₂の削減に努め、二酸化炭素を吸収する森林を育てると表明した。

ここでいう『森林』とはどの森林を指すのか。

岡田町長 本町の民有林面積は7122ヘクタールで国有林を含めると町の面積の78%を森林が占めています。この森林が全て、地球温暖化を防止するための森林と考えています。

問 その森林を育てる人をどのようにして確保していくつもりなのか。

岡田町長 たしかに本町は林業従事者が少なく、林業事業については森林組合がその多くを担っていただいているところです。今後、森林経営管理制度を進めていく中で、森林所有者の意向を確認し、町が仲介役となり、森林組合や中小規模林業従事者に繋ぎ、適正な経営管理を行っていきたいと考えています。

また国、県の研修支援事業等を活用し、林業従事者の確保・育成に取り組んでいきます。



森林を育てる勉強会

問 6月定例会において、産業建設常任委員会が提言した内容を現実化することこそ、ゼロカーボンシティを目指すことに値すると思うが、町長の見解は。

岡田町長 委員会からの提言は、私が宣言した「恵まれた自然を大切にし、安らぎに満ちた美しい町を次の世代に繋げる」ということだと思っています。

今後提言された内容も参考にしまして、取り組みを進めていきたいと考えています。



浦木 秀雄 議員

お悔やみ窓口

負担軽減のため窓口一本化を 今年度から実施している／町長



朝もやに浮かぶ太陽

問 住民負担軽減のため「お悔やみ窓口」を一本化し、各課が動いて対応できる態勢を整えるべきではないか。

また、火葬代の補助をすべきではないか。

岡田町長 今までできてい wasn't でしたが、今年度の機構改革により、ワンフロアで手続きの完結ができるよう改善をしました。その他の件でも複数の手続きが必要であれば、職員が入れ替わり対応することとしています。

火葬代補助は考えていません。

ゴミ処理問題

さらなる改善はあるのか

より良い方法を模索／町長

問 昨年9月議会で町長が約束したペットボトル等の回収改善策として、代金20円の極小の袋を用意する、透明の大、小の袋を25%引きにするなど、9月議会で改善の方向を示した。しかし、なぜ籠を用意しなかったのか、住民要求があればさらなる改善をするのか。

今宮建設環境課長 3

00におよぶ収集箇所数および日程対応の困難性、管理の困難性、用地許可の困難性、近隣他市町村は、全収集箇所数の4割程度の箇所数に集約化して集めている困難性を考え、籠を用意せず極小の袋を用意しました。

まちづくり計画

結論はいつまでに

来年の2月末／町長

問 大月町のまちづくりは、どういう目的で、何年先まで見通して、どういう検討課題を掲げて検討しているのか。

検討課題のなかには、財政の見通し、公共施設の建て替えの見通し、人口の見通しなどは入っているのか。検討課題の進捗状況とタイム

スケジュールなどの将来構想は。

岡田町長 若者をターゲットとする宅地造成を計画するうえで、将来のまちづくりがイメージできるグラウンドデザイン、公共施設の在り方を検討する必要がありますと判断しました。この検討会議では、



大月マルシェと盆踊り

財政の見通しや、公共施設の在り方、人口の構成年齢層などを考慮しながら本町の实情、10年後、20年後の将来ビジョンを見据え、宅地造成事業を検討することとしています。

月1ペースで検討会議を開催し、宅地造成に関する検討報告書を令和6年2月末までに作成します。

／こんにちは／

飴色の光に魅せられて

陶芸教室を開いている
横山政美さんを訪ねた。

まさみ
横山 政美 さん(71歳・樫ノ浦)



陶芸のきっかけは

陶芸の憧れは中学校からあった。中学校を出て、かつお船に乗った。海しかないところから帰ってきて、癒しを求めて陶芸をしてみたいと思った。海に出たらまた陶芸に憧れて、二十歳のころ自分の家で窯を作り、樫西小学校の子どもと作品を作って焼いたねえ。陶芸の展示会があったら、四国内のどこでも観に行った。

ここに、政美さんの陶芸に対する秘めた熱い思いを感じた。

憧れはさらに強く
37歳の時、悪性リンパ腫という大病を患って生死をさまよった。手もしびれ、足も動かなくなってきた。ワイシャツのボタンをつけたのに一時間もかかった。

陶芸の魅力は

好きなものに憧れ、陶芸を50年くらいやってきた。

作るときも楽しいけど、できたときの喜びはなんともいえんねえ。1250度の温度に熱せられた焼き物が飴色

になって透き通って見える。できあがった作品を見るため窯を開けたときの陶器の光の色もハツとする美しさを感じるねえ。これが、今まで陶芸を続けられた秘訣じゃないやろうか。

仲間がいるから

政美さんは、姫ノ井の旧役場支所の隣の1室で陶芸教室を開いている。現在、生徒さんは10名。みんな、多くもくと作品作りにはげんでいた。

陶芸は独学でやって

きた。これでいいのか。もどかしさもある。しかし、ぼく独りではできん。仲間がいるから、と笑う政美さんの笑顔がまぶしかった。

政美さんは元氣になり今では硬式テニスも楽しんでいる。



作品と陶芸教室風景



編集後記

▼秋といえば「実りの秋」…。黄金色に実った稲穂がさわやかな風になびく。やがて白米に変わって、多くの家庭の食卓にあらがり、新米の風味は身も心も満たしてくれる。農家としては資材の値上がりや米価の低迷など、米作りは厳しいが、元気でいる間は新米を届けたいと頑張る人もいるはずだ！

▼9月定例会で決算の認定をした。将来の町を支える事業がある。これらの事業が大きく根を張り、豊かに実ることを願う。

(安岡 邦彦)

編集委員会

委員長	依岡 一生
副委員長	野村 満久
委員	中田 巖
委員	浦木 秀雄
委員	安岡 邦彦

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷
有限会社 宿毛印刷